

## 2022年度 第12回関私教協幹事校会議事録

1. 日時 2023年3月27日(月) 17:00~17:55

2. 形態 Zoom 会議

3. 出席者

【幹事】 眞田 克典 (東京理科大学・事務局長)、齋藤 史夫 (東京家政学院大学)、池田 賢市、高木 雅史 (中央大学・事務局次長)、大島 真夫 (東京理科大学)、山本 智子 (国立音楽大学)、安藤 真聡 (慶應義塾大学)、田村 真広 (日本社会事業大学)、後藤 正矢 (多摩美術大学)、伊東 毅、谷川 美の理 (武蔵野美術大学)、長嶺 宏作 (帝京科学大学)、瀬川 大 (日本女子体育大学)、河村 久、田中 直樹 (聖徳大学)、吉田 真理子、西村 志乃 (洗足学園音楽大学)、山崎 真之 [遠藤 克弥代理] (東京国際大学)、新田 司 (千葉敬愛短期大学)

【事務担当】 常盤 朋子 (東京理科大学)

【オブザーバー】 高瀬 幸恵、岩井 瑞恵、黒岩 友見子 (桜美林大学)、尾高 進 (工学院大学)、青木 研作 (東京成徳大学)、白石 一徳 (文化学園大学)、森田 満夫 (立教大学)、北村 篤司、横澤田 朋美 (昭和音楽大学)

4. 協議

[報告事項]

(1) 研究部の活動について

○部会の活動について

- ・第2部会: 3月7日(火)に「教職課程組織運営及び『教職センター』に関するアンケートの報告書」に関する検討を行った。
- ・第4部会: 3月4日(土)に第5回の部会をオンラインで開催し、今年度の活動は終了した。
- ・第6部会: 「教員採用試験における適性検査問題に関する実態調査4」の報告書が完成し、年度内に配付完了予定である。第6部会の活動費残高で不足する発送費用に関しては、2022年度の研究部会補助金から補填していただく。
- ・第7部会: 3月8日(水)に「教科情報必修化によるカリキュラム研究」として、芝浦工業大学の大学院生に修士論文に基づいて報告をしていただき、10名の参加があった。

(2) 『会報』第93号の編集について

新田広報部副部長から、資料1に基づき、『会報』第93号(6月1日発行)の部会報告が本日締切りであること、巻頭言と「おわりに」については、次期会長校・事務局の桜美林大学に原稿作成依頼を行った旨の報告があった。

(3) その他

眞田事務局長および齋藤事務局次長から、全私教協第4回理事会の報告があった。

〔審議事項〕

(1) 2023 年度 幹事校・世話人の体制について

眞田事務局長から、資料 2 に基づき説明があり、以下のとおり承認した。

- ・ 会計監査について、東京理科大学から 2023 年度は眞田事務局長が担当し、2024 年度は大島幹事が担当すること。
- ・ 瀬川幹事（日本女子体育大学）には 2023 年度の 1 年間のみ会計監査を依頼することとし、2024 年度の担当については次期事務局で検討すること。

(2) 2023 年定期総会・合同研究大会への準備について

眞田事務局長から、資料 3-1 に基づき、定期総会の分担について提案があり、原案どおり承認した。

なお、資料 3-2 の開催通知案については、今後軽微な変更が生じる可能性もあるが、大枠で承認した。

(3) その他

安藤研究部副部長から、第 1 回研究懇話会の発表者及び発表者への謝金額について提案があり、原案どおり承認した。

【配付資料】

資料 1：『会報』第 93 号作成スケジュール

資料 2：2023 年度 関私教協役員大学担当表（案）

資料 3-1：関私教協 2023 年度定期総会へ向けて

資料 3-2：関私教協 2023 年度定期総会、東教協との合同研究大会開催のご案内（案）

以 上